

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-02-06
事務事業名	協働推進事業		
		根拠法令・要綱等	
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	住民主体の協働のまちづくり
中項目	基本施策	住民主体で進めるまちづくり	
小項目	施策	住民主体のまちづくりの推進	
	問合せ先	担当課(室)	企画課
	職・氏名	協働推進係長 下林博樹	
	電話	64-1806	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	意見や要望を述べたい、あるいは、市からの情報を得たい住民。
目的(何のために)	より多くの市民等から意見を聞き、市民に役立つ行政事務事業に反映させる。
行政活動(どのような方法で)	テーマを決めて区会役員を対象に、市内12箇所で開催した。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	意見・要望などを聞き、市政に反映。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	市政懇談会(意見交換会)	箇所	13	4	12	
	参加人数	人	569	130	438	
	事業費	直接事業費	千円	0	0	0
	人件費		千円	2,184	2,220	2,978
	事業費計			2,184	2,220	2,978
	財源	国県支出金				
受益者負担						
一般財源			2,184	2,220	2,978	
必要人員	人		0.25	0.23	0.30	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	結果指標量	人	569	130	438	
	対前年比	%	-	22.8%	336.9%	
	活動コスト	円	2,184	2,220	2,978	
	単位当たりコスト	円	3,838	17,076	5,234	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	結果指標量	人				
	対前年比	%				
	活動コスト	円				
	単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	1箇所当たり参加人数	式又は説明	1箇所当たり参加人数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	43.77	32.50	36.50
対前年比		74.25%	112.31%
到達目標値	44	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	19年度は、開催回数を増やして実施した。熟のこもった意見等があり、市政に反映できた。			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している				
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある				
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない				
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である				
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい				
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である			効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			課題認識	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	意見交換会事業は、終了後の発言要旨作成に長時間を要しており内容をより簡略化する必要がある。			
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難				
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある				
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている				
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている			有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている			課題認識	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			より多くの市民等から意見を聞き、市民に役立つ行政事務事業に反映させることができた。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである				
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している				
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである				
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある				
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している				
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している				
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている				
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する				

平成20年度の状況		説明	6月の自治会連絡協議会でテーマを決定しており、早目の準備が可能である。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	5,234	結果指標量
	成果指標量		44

総合評価		評価区分<A-E>	C	
19年度は、開催回数を増やして実施し、参加者も増えたことにより、前年にも増して市民の声が行政に届いた。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	参加者増を図る。	平成20年度	より多くの声が行政に届く。